

平成25年度
議会報告会結果報告書

栃木市議会
議会報告運営委員会

議会報告運営委員会の設置

本市議会では、合併後の新栃木市議会において、平成23年3月に制定した、「栃木市議会基本条例」の第8条において、「議会は、年1回以上議会報告会を開催し、市民との意見交換を行うものとする。」と規定し、また、同条例第2条第3項において、「議会は、活力あるまちづくりに寄与するため、政策立案及び政策提言に関する議会の機能を強化しなければならない。」と規定しています。

この議会基本条例による議会の役割を果たすためには、議会活動の報告会や市民との意見交換会を通し、広く意見を聴取するだけでなく、聴取した意見を整理し問題発見を行い、さらに発見された問題の中から、政策形成をしていく取り組みが必要であります。

このようなことから、議会報告会や意見交換会等を開催し、議会の広報広聴活動の充実を図り、政策立案及び政策提言機能を強化するため、議長の諮問機関として「議会報告運営委員会」を設置するものである。

1. 名 称

議会報告運営委員会

2. 組 織

各会派等から推薦のあった10人の委員で組織する。(西方町との合併後は11人とする。)

委員会に、委員長・副委員長を置く。

3. 会 議

委員会は、委員長が招集し、その座長となる。

委員会は、委員の半数以上が出席しなければ会議を開くことはできない。

議長は、委員会に出席し、意見を述べることができる。

会議結果は、適宜議長に報告する。

4. 検討事項

- (1) 議会報告会及び市民との意見交換会の企画立案に関すること。
- (2) 広報広聴活動を通じた政策立案に関すること。
- (3) その他

議会報告運営委員会委員名簿

◎広瀬義明	大樹
○平池紘士	黎明
針谷正夫	黎明
松本喜一	大樹
増山敬之	大樹
大川秀子	黎明
大島光男	栃木創志会
萩原繁	曙光
慶野昭次	新生会
内海成和	改革栃木
小堀良江	曙光

◎ 委員長 ○ 副委員長

平成24年6月14日現在

議会報告運営委員会 開催状況

- 1 日 時 平成25年5月24日（金）午前10:00
議 題 (1) 平成25年度議会報告会の検討方法について
(2) 開催時期及び回数等について
(3) スケジュールについて
(4) その他

- 2 日 時 平成25年6月7日（金）議員研究会終了後 開議
議 題 (1) 今後の検討体制について
(2) その他

- 3 日 時 平成25年7月18日（木）午前10時 開議
議 題 (1) 日時・会場について
(2) 班編成について
(3) 資料（報告事項）及びチラシの検討について
(4) その他

- 4 日 時 平成25年8月29日（木）午前10時 開議
議 題 (1) 報告事項の検討について
(2) チラシ（案）について
(3) 班内の役割分担について
(4) その他

- 5 日 時 平成25年10月7日（月）
議 題 (1) 報告会資料の検討について
(2) 班内の役割分担について
(3) その他

- 6 日 時 平成25年12月26日（木）
議 題 (1) 平成25年度 議会報告会結果報告書（案）について
(2) その他

班 編 成

班名	氏 名	班名	氏 名
A班	白石 幹 男	B班	海老原恵子
	増山 敬之		松本 喜一
	大阿久岩人		須田 安柝
	大川 秀子		入野登志子
	慶野 昭次		大武 真一
	小堀 良江		平池 紘士
	岡 賢治		内海 成和
C班	高岩 義祐	D班	大出 孝幸
	広瀬 義明		福富 善明
	福田 裕司		梅澤 米満
	天谷 浩明		大島 光男
	千葉 正弘		関口孫一郎
	大出 三夫		萩原 繁
	永田 武志		松本 喜一
E班	渡辺 照明	F班	内海 成和
	氏家 晃		針谷 正夫
	長 芳孝		鮎田 博
	中島 克訓		鮎田 榮一
	針谷 正夫		増山 敬之
	慶野 昭次		大川 秀子
	小堀 良江		大島 光男
		萩原 繁	

報 告 内 容

- (1) 定例会の報告について
- (2) 議会改革の取り組みについて
- (3) 新市庁舎について
- (4) とちぎメディカルセターについて
- (5) その他（オリン晃電）

※各会場共 約2時間実施した。

開催結果

開催日	開催場所	班	一般参加者	アンケート	回収率	傍聴議員
10月22日	西方公民館	F	54	38	70%	8
10月23日	真名子夢ホール	F	27	19	70%	6
10月24日	大平南地区公民館	C	12	11	92%	1
	木コミュニティセンター	E	7	5	71%	4
10月25日	都賀文化会館（ハートホール）	E	13	10	77%	2
10月28日	寺尾公民館	A	14	12	86%	5
10月29日	大宮公民館	B	27	21	78%	4
	大平東地区公民館	C	11	10	91%	0
10月30日	大平西地区公民館	C	12	11	92%	0
	藤岡公民館	D	17	12	71%	1
11月1日	部屋地区公民館	D	15	9	60%	2
11月2日	第5地区コミュニティセンター	A	9	7	78%	4
11月3日	第6地区コミュニティセンター	B	17	16	94%	0
	合 計		235	181	77%	37

※過去の一般参加者数

平成23年度・・・・・・・・298名

平成24年度・・・・・・・・229名

報告内容に係る市民からの質問

○西方公民館 10月22日（火）

定例会について

- ・談合疑惑の件は誰が漏えいしたのか。
- ・漏えいした人物が特定できていないのに、報告事項の中の一つとして組み入れても良いものなのか。
- ・賛成多数の定義について

新市庁舎について

- ・東武百貨店化が提示したコンセプトの内容について

とちぎメディカルセンターについて

- ・産婦人科と小児科の医師を確保状況について

その他（オリン晃電社について）

- ・相手方に請求をしているというのが実際問題として返済は難しいのではないのか。
- また、土壌汚染の処置は最終的にどこが行うのか。

○真名子夢ホール 10月23日（水）

新市庁舎について

- ・設計図がない中で予算が提出されたのか。
- ・1階に商業施設の出店が決定した時点で、議会では疑問に思わなかったのか。
- ・新築の方が良かったのではないのか。
- ・賛成した議員の意見を聞きたい。

○大平南地区公民館 10月24日（木）

新市庁舎について

- ・商業施設部分の賃貸の契約単価及び契約期間について
- ・建物の強度について、物品等は軽量化及びペーパーレス化を実施しないと重量面で心配と考えるがその点は大丈夫なのか。

とちぎメディカルセンターについて

- ・医師を確保するための計画の進捗状況は

その他（オリン晃電社について）

- ・オリン晃電社問題が発覚した時に土地開発公社は廃止するという議論があったような

気がする。しかし、現在メディカルセンターの土地取得に関わっているということだがなぜか。

○木コミュニティセンター 10月24日(木)

新市庁舎について

- ・駐車場の整備はどのように考えているか。

○都賀文化会館(ハートホール) 10月25日(金)

新市庁舎について

- ・当初予定と大きく変わった商業施設約9億8千万円は市民の理解が得られるのか。市民の税金が使われているということを議会も真剣に受け止めてほしい。
- ・商業施設部分の面積について
- ・商業施設部分の賃貸の契約単価及び契約期間について

○寺尾公民館 10月28日(月)

- ・なし

○大宮公民館 10月29日(火)

定例会の報告について

- ・討論について、反対討論を先に行う理由について

議会改革の取り組みについて

- ・議会基本条例には議員は、自由闊達な討議をとおして市政の論点、争点を明らかにし、市民に対し、積極的に情報発信を行わなければならない。とあるが、そのような場面がないが見解を伺う。

新市庁舎について

- ・1階商業施設について、市民から意見等を聞いて本会議に臨んだ議員はいるのか？
- ・1階商業施設について、なぜ、福田屋百貨店なのか疑問に思う。
- ・賃借料について、安いと思うが。

メディカルセンター

- ・駐車スペースの駐車台数について
- ・駐車スペースが300台くらいでは足りなくないか。
- ・駐車場の確保について、更なる増設を執行部に働きかけを。
- ・代表が3人体制だが、うまくやっていけるのか。
- ・周辺住民への説明会はあったのか。
- ・一般的に新法人はゼロからのスタートかと思うが、新法人への退職金の引き継ぎ方法は。
- ・下都賀病院の解体費用及び解体後の土地の活用方法について

- ・下都賀病院解体後は市が買い取るのか。
- ・産婦人科の設置について
- ・第1病院の借地部分については買収できなかったのか。
- ・栃木市内のバイパス沿いに建設すると聞いていたが、実際は大平地域内である。疑問に思う。
- ・医師の確保は大丈夫か。

その他（オリン晃電社について）

- ・跡地には、どのような物質が入っており、今後どのように処理をするのか。
- ・今後の土地の利活用について

○大平東地区公民館 10月29日（火）

新市庁舎について

- ・建設費用の削減について
- ・公募による事業者につて、東武百貨店、ヤオハンと3社目はどこか。
- ・各議員の賛成、反対理由は。

とちぎメディカルセンターについて

- ・サイレン等の配慮及びインフラについて
- ・敷地面積の妥当性について
- ・代表理事長の概要（氏名）について

○藤岡公民館 10月30日（水）

新市庁舎について

- ・商業施設部分の賃貸の契約単価及び採算性について

その他（オリン晃電社について）

- ・もう少し詳細に説明がほしかった。

○部屋地区公民館 11月1日（金）

新市庁舎について

- ・1階商業施設の家賃は何年で元がとれるのか
- ・立体駐車場の駐車スペースについて

とちぎメディカルセンターについて

- ・医師及び看護師の確保について
- ・救急患者も新病院で受け入れられるよう努力してほしい。
- ・新病院への患者収容数について

○第5コミュニティセンター 11月2日（土）

定例会の報告について

- ・寺尾中央小学校の予算の積算方法について

新市庁舎について

- ・市民相談室の有無について
- ・もう少し詳細（経過経過等）に説明してほしい。

とちぎメディカルセンターについて

- ・医師及び看護師の確保について
- ・ドクターヘリ（騒音に伴い）の着陸場所について
- ・もう少し詳細に説明（経過状況等）してほしい。

○第6コミュニティセンター 11月3日（日）

定例会の報告について

- ・栃木市の応札率の高さについて

新市庁舎について

- ・現在スタートしている新市庁舎改修工事について「見直せと」という議員がいたが、そのようなことは可能なのか。
- ・新庁舎整備に係る総額で採決または議論することはできなかったのか
- ・1階の市民スペースについて期待していたのに残念な結果になったが、議会では市民スペースについて議論をおこなったのか。
- ・1階商業施設について、経過を知らされないまま報告だけなのであれば、本当に開かれた議会とはいえない。（議会からの経過説明はないのか）
- ・賃貸の契約金額及び元が取れるまでの期間について

メディカルセンターについて

- ・医師の確保は大丈夫なのか。
- ・医師が不足している現状の中で、獨協医科大学病院に協力を仰がないのか。
- ・資料の議員研究会の中での議員の意見に対する執行部からの回答内容について

その他（オリン晃電社について）

- ・今後もオリン晃電社の問題については市民に報告してほしい。

意見交換会時の質問等

○西方公民館 10月22日（火）

「質問」

- ・宇都宮市では12件の入札不調があったが、本市の状況は。

「要望」

- ・農業用廃ビニール助成金の増額要望
- ・西方小学校にクーラーの設置要望
- ・新市庁舎問題を踏まえ、今後の事業については当初計画からはしっかり予算を組んで適切に実行してほしい。

「その他」

- ・今後の西方地域の発展のための豊富について、議員の意見を聞きたい。

○真名子夢ホール 10月23日（水）

「質問」

- ・報告書の作成方法について
- ・議会で西方地域の活性について等の議題は上がったりにしているのか。

「要望」

- ・補助金申請を簡略化について
- ・市のホームページに投票結果及び投票率を掲載してほしい。
- ・都市計画税は廃止すべき。
- ・ふれあいバスは今後も継続してほしい。

「その他」

- ・議会の機能チェックは公平性、透明性であるべきでは。

○大平南地区公民館 10月24日（木）

「質問」

- ・公民館等の使用料の有料化に伴い、市からその効果についての説明はあったか。

「要望」

- ・出席者を多くするための努力をお願いする。
- ・来年合併する岩舟町には、オリン晁電社と似たような問題事例がないか、今の内から見定めておいてほしい。
- ・公民館使用料の有料化に伴い、減免措置は廃止（公平性の面で）の方向で検討しコストを明確にしていきたい。

「その他」

- ・合併して良かったか、良くなかったかを一人ずつ感想を述べてほしい。

○木コミュニティセンター 10月24日(木)

「質問」

- ・伝建地区内の看板及び電柱地中化問題について今後検討をして、伝建地区にふさわしい街並みにしていく考えはあるのか。

「要望」

- ・赤津小学校には洋式トイレが1カ所しかないので、調査のうえ半数くらいは洋式化にしてほしい。
- ・家中小学校への通学路についてスクールゾーンにするべきである。
- ・ふれあいバス利用者のために停留所傍及び公共施設の傍に駐輪場を設置してほしい。

○都賀文化会館(ハートホール) 10月25日(金)

「要望」

- ・都市計画税は廃止すべき。

「その他」

- ・議員としての自覚を持ち頑張るべきである。
- ・税金は、誰のために使うべきかを心に刻んで議会運営に取り組むべきである。
- ・都市計画税について、合併時の負担は低い方に合わせるのであれば、廃止すべき。

○寺尾公民館 10月28日(月)

「質問」

- ・新市となり悪い面として、県内で色々会議を実施しているが、他の市町村では担当者1名で出席しているところ栃木市だけ旧市町単位で職員が1名ずつ(計5名)出席している。部署等が統合されても体制が整っていない感じがするが、議会ではどのように改善してくのか。
- ・寺尾地区について、高齢者を大切にすると同時に新しい人が入ってきやすい環境づくりが必要と考えるがここにいる議員はどのように考えているのか。
- ・災害時に誰がどのような方法で住民に知らせ、避難経路や避難場所のカギは誰が開けるのか。さらに食料の貯蓄状況も知らない中で自治会長はどのように判断するのか。又避難場所になっている小中学校の教員には避難者を受け入れるための指導等は、周知してあるのか教えてほしい。
- ・地域包括支援センターのあり方について、地域内の各団体を組織化するなどして、地域の資源を集結する包括した支援が必要と考えるが議会ではどのように考えているのか。

「要望」

- ・現在の公民館の業務は生涯学習のイベントが中心となっていることから、今後は、各地区の情報を本庁に提出するシステムにするために、公民館職員を自治会付けの連絡員にできないか。
- ・教育現場の教員不足に伴い、教育現場に手厚い支援をお願いしたい。
- ・ハザードマップと防災マップの避難場所が違うので訂正をお願いしたい。

「その他」

- ・透明性の高い筋をとおした愚直な態度で議会に臨まなければ政治や行政不信が払しょくされないのではないか。よって頑張ってください。

○大宮公民館 10月29日（火）

「質問」

- ・議員報酬の減額について、議会は減額に応じず、議員提案もしなかったってことに、非常に残念な思いがするが見解は。
- ・ふれあいバスについて、ほとんど乗車していない状態を見るが、議会と執行部の考えのすり合わせは行ったりしているのか。
- ・栃木市も元気の出る、ゆるキャラを作してほしい。

「要望」

- ・葬祭場を早く新設移転してほしい。
- ・福祉タクシーの券については、増やす方向で検討願いたい。
- ・栃木市の天気予報はなぜ放送や放映がないので要望してほしい。

○大平東地区公民館 10月29日（火）

「質問」

- ・合併してメリットはあったのか。
- ・合併後に大平地域選出の議員達で、今後の地域についての話し合い等を行ったことはあるか。

「要望」

- ・土曜日保育の拡充をお願いする。
- ・学童保育の設置場所によっては、屋外で遊べるスペースがない所もあるので、再検討してほしい。

「その他」

- ・議会報告会参加者の増加を図るための工夫をしてみてもどうか。

○藤岡公民館 10月30日(水)

「要望」

- ・収税担当を納税担当にしてはどうか。(お上意識が如実に出ています。)

「その他」

- ・新市庁舎問題及びオリン晁電社問題について議会として一生懸命取り組んでいるところは評価する。

○部屋地区公民館 11月1日(金)

「質問」

- ・今後総合支所制度が廃止になる可能性はあるのか。
- ・岩舟町との消防業務のすり合わせの進捗状況について
- ・藤岡地域の保育所統合について

「要望」

- ・藤岡第二中学校の体育館が雨漏りしているので、修繕をお願いしたい。

「その他」

- ・本庁舎に行ったこともなく、場所がどこにあるかわからない。

○第5コミュニティセンター 11月2日(土)

「質問」

- ・議会報告会の会場について、なぜ第5コミだけ午前10時からなのか。
- ・岩舟町はなぜこの時期に新庁舎を建設したのか。
- ・補助金について、大平地域は補助金が出て、栃木地域は出ないというところが見受けられる。

「要望」

- ・防災関係について、避難所の周知等をしっかりお願いしたい。
- ・伝建地区内の犬のフンについて、罰則規定を検討してほしい。

○第6コミュニティセンター 11月3日(日)

「質問」

- ・外部監査が必要ではないか
- ・統合した後の校舎等の活用方法について
- ・一般質問を傍聴した際に、事前通行をしていない質問をして、止められていた場面を見たのだが、市民としては議員の質問に対する執行部の回答を聞きたいので、後からでもいいのでも回答してもらえないのか。
- ・議員はアンテナを伸ばし常に情報をキャッチしているか。

- ・重要な議案については自分の支持者達の見解を聞いて賛否をしてほしい。

「要望」

- ・情報開示の在り方について、市民がわかるような情報開示をお願いしたい。
- ・今回の議会報告会で使用した市民アンケートは、議会の傍聴アンケートに使用してほしい。

市民アンケートの自由意見欄

○西方公民館 10月22日(火)

- ・会場が狭かった。
- ・議員も電子メールを使用し、栃木市ホームページに掲載したりしては。

○真名子夢ホール 10月23日(水)

- ・本当の市民のための議会であることのみを望みます。
- ・陳情は市民の声ですので、採択してほしいです。
- ・行政サービスを維持していくが大変だと思う、総合支所の統廃合はなしでお願いします。
- ・オリン電社工場跡地について忘れられることがないように常に目を光らせていきたいと思っておりますので、議会としても、無駄な土地にしないよう考えて頂きたいと思っております。
- ・真名子地区も栃木市です。行政の光がうすくならないようにして下さい。何らかの計画の一部には入っているのですが、忘れられているのか無視されているのか対応に苦慮しているのか、存在観がみえない。

○大平南地区公民館 10月24日(木)

- ・参加人数が少ないとの質問がありましたが、無理に参加要望するより自主的に参加する事が重要です。これで良いのではないのでしょうか。継続は力なりとなりますので今後継続行することをよろしくお願いします。
- ・長期的視点での議会で討議される事が益々、充実していくことを望みます。
- ・都市計画税については、合併後誰も発議していない。都市計画税の廃止に議会でも問題提起して欲しいです。

○木コミュニティセンター 10月24日(木)

- ・勉強になりました。ありがとうございました。
- ・行政のみでは、進捗することのない案件も多と思うので、市議の方々にはこれからもご尽力願いたいと思っております。
- ・議員の皆様が熱心に説明して下さいなのに、地域住民の参加が少ないので失望しました。

○都賀文化会館(ハートホール) 10月25日(金)

- ・特定の人だけの質問ばかり(特に批判的な意見)で、議員の前向きな回答を得るような質問もなく意味がない。
- ・質問が長すぎる。調整する必要があるのではないかと時間を決めたらどうか(2分までとか)
- ・議会(議員)にお目付け役としての緊張感を感じられない事がある。時折、ふと首を傾げる事がある。
- ・詳細な説明を聴取できまして大変参考になりました。議員さん方が開かれた議会を進めているのに対して、参加者が少ないことは残念でありますので、より多くの参加を求めます。

- ・新市庁舎1階商業施設部分に東武デパートが入っても活気が復活するとは難問であり、もう少し議員さんも冷静に判断すべきで浅はかであったと感じた。
- ・市街化区域の目的税の廃止を求めて活発な討議を行って下さい。
- ・参加者は少数でしたがとても良い報告会でした。
- ・議員活動の中で地元有権者との問題提案も是非検討し、執行部に対し反対意見なども発言して下さい。
- ・オリン電社工場跡地問題については、土地の活かし方を考えるべきではないか、前に進まなければいつまでも解決しないと思う。
- ・旧栃木地域以外でも、買い物に困っている人は沢山いる。公共性の立場1㎡300円で貸すようだが費用対効果を求めるのであれば、新市庁舎は郊外地に新築した方が賢かったのではとの声もあります。

○寺尾公民館 10月28日(月)

- ・財政難の今日、公金の支出については、特に1万円でも不正な疑惑ある支出は許さないと言う、透明性が高い執行を求めていかなければならないと考えます。ところが個々の審議の中では批判又は反対をされても予算とか決算になると賛成してしまっています。この態度は巧みに市民の前で踊っている(アリバイづくり)にすぎないと思います。議員はより一貫性愚直さが必要です。その態度が今日の政治行政不信を回復させる事になっていく事になると思います。
- ・都市計画税については、廃止の方策を検討して下さい。
- ・市では色々な公募委員を募っているが、各種団体の役員が多数をしめている現状であるが、これで良いのか。
- ・メディカルセンターについての説明会も大切であるが、執行部は市民の意見(産婦人科や小児科の設置等)も耳をかたむけて欲しい。

○大宮公民館 10月29日(火)

- ・議会だよりの情報、もう少し具体的なものに工夫してください。
- ・とちぎメディカルセンターに必ず産婦人科をお願いします。
- ・質問に対する回答は慎重かつ間違いのない発言をお願いします。
- ・質問と回答がかみ合うように整理されたい。また余計な答えが目立った。(司会者)
- ・市民との対話や議員間の討議を活発なものにしていただきたい。(全議員)
- ・もう少し多くの参加者が得られるような工夫をお願いします。
- ・都市計画税については、よく吟味し廃止の方向性を検討して議会議員の皆様が是非提案協議を望みます。
- ・メディカルセンターに産婦人科設置の検討をお願いいたします。
- ・討論のやり方でも論議は慎重に廃止の審議して下さい。

○大平東地区公民館 10月29日(火)

- ・今の議会には何の期待も要望も持てない。理由は、新市庁舎整備に対する市長の暴走を

とめる事ができなかつたからです。これだけの費用がかかるのであればこの案件に対する議論はもっと時間をかけるべきだったと思います。一番優先すべき事は一人一人の市民が元気に明るく日々を送れる事ではないでしょうか?しっかりとした医療・介護連携を作る事や子育てや介護、病気等で離職を考えなければならない様な状況をできるだけ作らない行政サービスを作りあげていく事が先ではないでしょうか。新庁舎であろうと旧庁舎であろうと市の運営はできるはずですが、どうお考えでしょうか?私は50代ですが次世代に借金を作る様な事はしてはならないのです。そう思いませんか?議員としてではなく市民の1人として自分の身内の事などに置きかえて考えてみてください。それから栃木市になって一番最初に行われた大平中央公民館での議会報告会で私は質問させて頂き、後日ご自宅に伺って説明しますと約束した議員がいらっしゃいましたが、約3年半たっても、その議員はお見えになっていません。何のための議会報告会なんですかね。もうお見えにならなくて結構です。

- ・①市民の目線、視野に合った議会であって欲しいと思う
- ②市の防災に関する体制の維持は必要だが、地域自治会等の自主防災組織が形成される必要がある。そのための助成等検討してもらいたい。
- ③市民のための開かれた議会であると信じている。市民の代弁者としての立場からあらゆる角度から議案への対応、検討をしてもらいたい。
- ④報告会への参加者(出席者)が少ないのは残念だが、議会改革の取組みについては評価したい。
- ⑤少子化への対応として子育て支援施策に関して議会で検討してほしい(保育所、学童保育等々の病児保育問題がある)
- ⑥栃木市の新体制のあり方を議会から発信してほしい。(団体としては地域あり、地域活動を通して、そして全体としての新しい栃木市の姿を話し合っている。)
- ・地域出身の議員が担当になっているが、他地域の出身議員も入り幅広い議員を知りたい。
- ・議会報告会は3回目となりますが議会活動への市民の方が無関心なのか市政に対して希薄になって思う。また全市民に対して開催資料配布の意味もなく、金の無駄使いと考える。今後も議会報告会を開催するのであれば、ぜひ報告会の見直しをしていただきたい。そして大平地域ごとではなく、大平地域全体としてやってほしい。
- ・お疲れ様でした。
- ・議員に強く求められることは、市政に透明性を確保する事。一貫した政治姿勢が求められている事を訴えます。

○大平西地区公民館 10月30日(水)

- ・新しい病院へ直接行けるふれあいバスを運行してもらいたい。
- ・総合保健医療支援センターでは、人間ドックの受け入れをお願いしたい。
- ・介護老人保健施設の床数は、もう少し増やしてもらいたい。
- ・新しい病院は災害に強い病院としてもらいたい。その上で、災害時に十分な機能を発揮してもらいたい。
- ・前日の報告会で新市庁舎に関する質問をしたが、答えられないと止められた、市民の質

問に答えてそのキャッチボールで報告会が成立するのではないか。質問に対し答えられないのなら議会のホームページに理由を載せたり、各議員お持ちのSNSを使用し、賛成、反対の理由を載せたりすれば良いのでしょうか。

- ・個人（市民）の発言は誹謗中傷だと発言した議員がいたが、そんな議員がまともな議会を作ることができますか？私は失望しましたよ。
- ・報告会の資料は難しいですね。

○藤岡公民館 10月30日（水）

- ・「開かれた議会」にさせていただき市民の為の政治を行って欲しい。一番大切な事は、「議員の役割と責任」である事を自覚して、栃木市の未来を良く考えた行動をお願いします。
- ・新市庁舎内の東武百貨店について、
 - ①<市の動き>行政側は、増額する場合は事前に議会に報告すべきだった。
　　<議会の動き>工事費13億9千万円から9億9千万円に減額できた事は努力された結果が見受けられる。
 - ②<市の動き>栃木市内の街の活性化に東武百貨店入店は良かった。
　　<議会の動き>市民、若い女性が望んでいるので反対するのはいかなものか
- ・一般財団法人 とちぎメディカルセンターについて、下都賀総合病院は老朽化しており再編は栃木市の将来を考えた場合良かったと思います。
- ・百条委員会について、議員の活躍に敬意を表します。この件で市民が政治に関心が高まった。
- ・健康に関する補助事業の充実

○部屋地区公民館 11月1日（金）

- ・なし

○第5コミュニティセンター 11月2日（土）

- ・議員の方の積極的な姿勢に期待いたします。
- ・議会報告会チラシに市民ならどの場所に行っても大丈夫と明記するのがよいかもしれません。
- ・合併後の大変な時期ですが頑張って素晴らしい議会にするべく、御努力を続けて下さい。
- ・わかりやすい議会報告会でした。出席して大変良かったです。
- ・栃木市が拡大する中での議会の役割が重要

○第6コミュニティセンター 11月3日（日）

- ・議員の中で4年間の間に質問をしない人がいる。全く意見がないのだろうか？市民の代表であるのにおかしいのではないか、1年間の間に議員は必ず1回以上するべきだと思う。
- ・栃木市の観光に対する取りくみは積極的とは思えない。来たらなんとかしてやるという感じで積極的に是非来て下さいという雰囲気が見えない。
- ・出席者が非常に少ない。折角この様な報告会を開催するのだから、周知の方法をもっと

考えるべきである。チラシを入れたら、見た人はくるだろではこの様な状況である。

- 議会傍聴で小山市議会では議員さんと同様の書類が手渡され執行部の案件を検議にしているようです。大平町の際は聴きながら書面を見て判った記憶もあります。休憩時はお茶などもポットで出して下さったようです。
- 知識のない人でも判るように数字でも執行部の話も判るので改善して下さい。傍聴席で耳をかたむけて理解できるよう取り計らってください。
- アンケートも議会傍聴でお願いや要望を記載できるよう今回この用紙を採用して自由に記入できたら良いと考えます。是非栃木市議会報告会アンケートをこのまま使用したらと・・・。
- 一般質問の時に議員の質問が長くなった時に議長が休憩をするが、質問の内容の切りの良い箇所で話を止めて頂きたい。関連性のある内容であるのに時間であるからと切られると話の内容がわからなくなってしまったり、盛り上がったものが急に腰砕けの状態になってしまう。上手な話の切り方をお願いしたい!
- 国県とも借金だらけ。これから人口も税収も増えていかないので、あるもの補修しながら使っていくようにしてほしい。
- 新築は納税者のことを考えてとりくんでほしい。昔計画した道路計画などは、見直してほしいと思います。

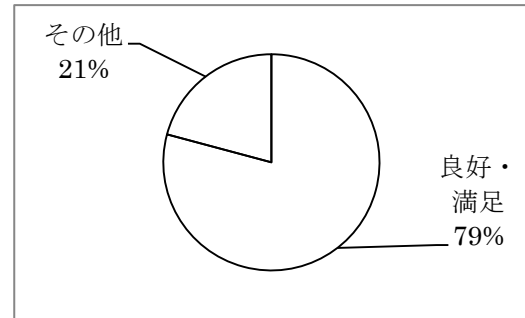
議員アンケート結果

1. 報告事項のテーマや内容について

(1) 定例会の報告について

「良好・満足」

- ・今迄通りで良い又、良好) (9人)
- ・よくまとめていただいたと思います。わかりやすかったです。前回よりもよくなっていると参加した方が言っていました。
- ・テーマもよかったし、資料もそろっていて良かった。
- ・資料を多く出し、説明を短くしたので良かったと思う。
- ・①から⑤のテーマの内容については、3回目という事もあり行政報告だけに捉われず、議員活動も随所に表現されており改善されてきた。
- ・報告件数、内容等適切だったと思う。全体的に議会用語の説明を入れたことも良かったと思う。
- ・関心度はまあまあ。
- ・これは必要と思う。



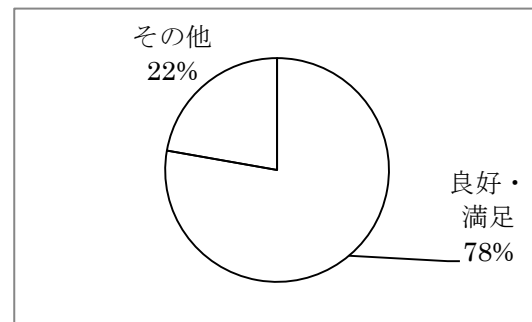
「その他」

- ・説明資料(口述)のボリュームが少し多かったように感じた。
- ・もっと簡易で良いのでは。
- ・かなりシンプルにはなったと思うが、やはりわかりづらい。
- ・ほぼ内容的には、必要な報告はできた。
- ・今回、議会より出された意見として説明ができたが更に議会としての意見反映が成されていることをPRすべき。
- ・委員会の審査内容を載せたのは良かった。
- ・主な報告事項のみでよいのでは。

(2) 議会改革の取り組みについて

「良好・満足」

- ・良好 (11人)
- ・明解な説明で良いのでは。
- ・一問一答方式をいち早く取り入れ改革の成果があがっていると思う。
- ・よくまとめてありました。
- ・4年間の取組が報告できて良かったと思う。



「その他」

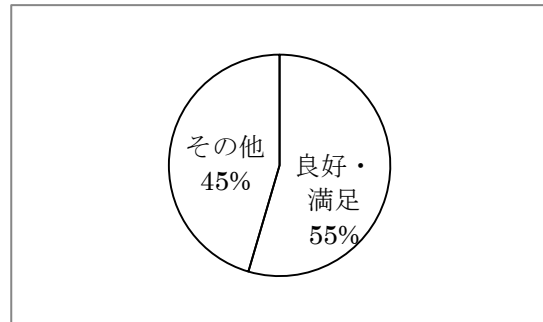
- ・他の自治体との比較をし、取り組みによりあがった成果を周知する。
- ・あまり関心がなかったように思う。

- ・前段で「なぜ、本市において改革が必要なのか」を明確にした方が良かった。
- ・重要な事項のみで充分なのは。

(3) 新市庁舎について

「良好・満足」

- ・良好（7名）
- ・よくまとめてありました。
- ・これまでの経過を出したのが良かったと思う。
- ・今回市民の最大の関心事項であったが、議会において、すんなりと決議されたのではないことは周知できたと考える。
- ・一部の市民が反対していたが、思ったより期待感が多かった。
- ・説明にかかる時間が長かったが、市民が注目しているテーマであるので良かったと思う。



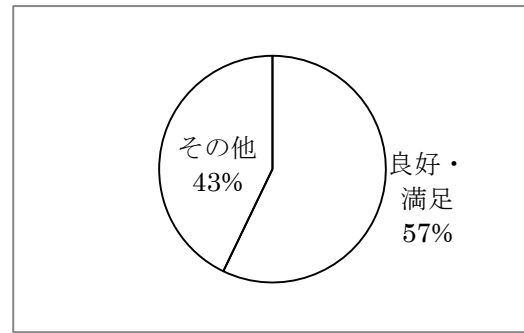
「その他」

- ・1Fの図面がない事を指摘された。
- ・1階の図面が欲しかった。
- ・いろいろな意見を紹介することは良いが、反対討論の内容がおお過ぎたように感じた。
もっと論点を整理すべきであったように思う。
- ・1階の商業施設東武百貨店の販売内容を詳しく知りたい。議員研究会の内容を説明できる対応
- ・経過を簡単にして、議会での議論を表した方が良いのでは。
- ・庁舎配置や駐車場の一台当たりのスペースを広くして、市民の期待に応えられる庁舎になる。
- ・なぜ1階部分に商業ベースを入れるのかの説明が不十分であった様に感じた。
- ・お金のかけすぎ。
- ・詳細に報告したので長くなってしまったが、仕方ないと思う。(市民にとって最大の関心事だから)
- ・長かったが今回は必要だったと思う。
- ・1Fの配置図が参考にしても欲しかった。図面がないことを指摘された。
- ・説明が長すぎポイントがつかめないう、重要点の強調をもう少しほしい。説明が必要であった。
- ・市民の関心を持っている事項であったため、更に詳細な説明が必要だったかも。

(4) とちぎメディカルセンターについて

「良好・満足」

- ・良好（9人）
- ・よくまとめてありました。
- ・各病院の役割も市民に解りやすく進捗状況も予算の説明解りやすかったと思う。
- ・議会の関わりを記載したことは良かった。



「その他」

- ・先生の確保についての説明がない。
- ・簡単にまとめて良いのでは。
- ・主な意見の部分の回答がどうだったのか知りたかった
- ・報告書の各病院の掲載した内容が解りづらいという市民の意見があった。
- ・病院再整備計画の最初からの経過を資料として出しておいた方が分り易かったと思う。
- ・執行部の「ふれあいトーク」で十分に説明しているし、議会の係わり方も限度があるので、もう少し簡単でも良いし、やらなくても可だと思う。
- ・行政の民間説明と類似してしまっただが、議会として直接的関与が難しいことでもあり、致しかたなかったか？
- ・病院建設終了まで報告は必要と思う。議会の関わりは少なくないので報告会向きではないが。
- ・借地が全体の40%の敷地になる事は将来大きな問題になる。将来規模拡大や高齢者施設との連携が充分とれるようにして頂きたい。
- ・補助金のあげすぎ。
- ・駐車場や医師の確保を心配されていた。
- ・市民の関心を持っている事項であったため、更に詳細な説明が必要だったかも。

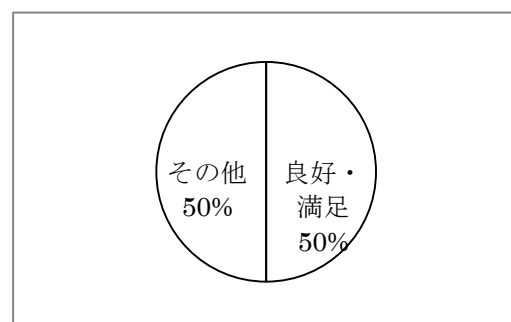
(5) その他（オリン晁電社）

「良好・満足」

- ・良好（7人）
- ・よくまとめてありました。

「その他」

- ・土地汚染について議員全員に説明ができるようにすべき、又これからの利用に対しての内容の周知。
- ・100条委員会での議会努力が十分な成果に結びつかず、何かむなしさ、虚脱感ばかりが残る。
- ・もう少し説明がほしい。
- ・担当したD・F班では、百条委員会からタッチしていた議員からの報告だっ



たのため適切だったと思う。

- ・関心がうすかった。
- ・オリン晃電社問題がこれで終わった印象をもった。本丸は進行中だとハッキリさせるべきだった。
- ・現在の、裁判中の説明を細かくして頂きたい。
- ・概要説明のみで充分

2. 資料の作成について

(1) 班による資料作成の方法について

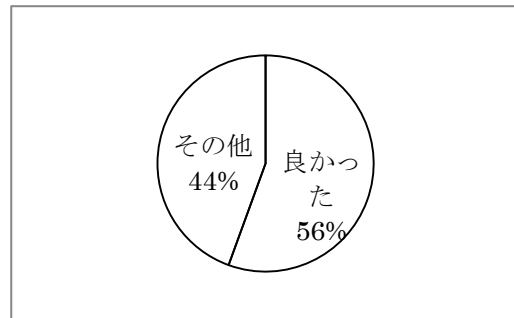
(※議会報告運営委員会委員のみ回答)

「良かった」

- ・役割分担でスムーズに出きたと思う。
- ・大変良かった。
- ・委員毎に手分けしたので良かった。
- ・向上している。今回市民の意見を参考にしたい。ワーキング的作成でよいと思う。
- ・今回の説明は資料にもとづいており、聞きやすかったと言われた。資料作成がうまかった。

「その他」

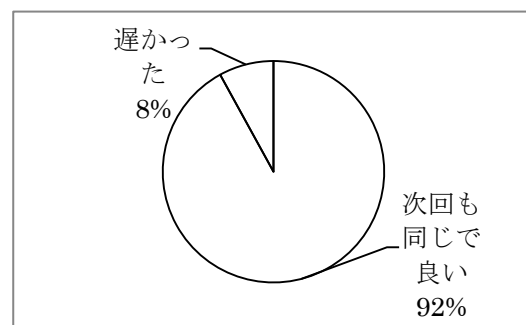
- ・もっと議員みんなで作るようにすべきである。(議員全員に聞くべきでは?) 会派ごと又は、常任委員会ごとなど。
- ・報告資料以外に質問に対しての回答できる資料を全議員に配布する①～⑤に対してわかる範囲。
- ・各分野で報告を新たに見直し、資料を持ち寄り作成する。各議員も勉強になり、良いと思う。
- ・担当した責任者の負担は大きかったと思う。時間的にもう少し余裕が欲しい。
- ・事務方の努力認める。



(2) 資料の送付時期について

「遅かった」

- ・今回の議会報告会開催時期と、9月定例会の閉会日時が近かったために、資料作成が遅れたと思うが、一日でも早く送付してほしい。
- ・説明資料に伴い、事前調査も必要であるため。



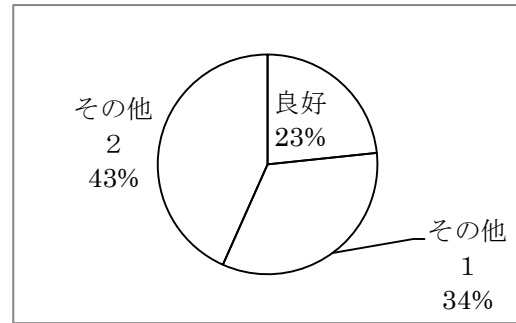
3. 意見交換のあり方について

「良好」

- ・良好（6人）
- ・ほぼ良かった。

「その他1」運営方法について

- ・個人議員の質問があったが対応を考えるべき。
- ・個々の議員の考え方、意見を出すことが良いのでは!
- ・もっとフリーな懇談会式で、市民(参加者)からの意見を聞くスタイルであった方が良いのではないか。
- ・意見交換については、司会役割が非常に大きいと思う。司会担当の打合わせをしたらどうか。
- ・関心が多かったも市庁舎の部分について反対した議員の話ができないのは、消化不良になります。報告は報告として意見交換はもう少し自由な意見が言えるといいかなと思った。
- ・行政の不確定に情報を発言すべきではない。
- ・議会から行政に伝えるだけの意見は減ったと思う。議会、及び議員の在り方に対する意見出てきているのでは?
- ・私は11月3日にのみ参加となってしまいました。時間が不足でした。トータル2時間は適切だと思っています。
- ・議会報告会以外の、要望も取り入れてもよいのかも。
- ・個人の考えを述べる場ではないので、求められても整理すべきであった。



「その他2」参加者について

- ・片寄った意見が多かったが、意見をもった関心のある人だからこそ参加したのでやむをえないとも感じた。
- ・市民の本当に少数の人達であるが、報告に対しての質問ではなく、自己の考えや主張を述べる場面があり、司会者の毅然とした対応で止めさせるべきである。
- ・一個人の意見。特に自分の意見。
- ・各会場に同じ人が参加し、同じような意見を言っていた。まず、優先的に会場周辺の住民の意見を言ってもらい、時間が余ったら、その他の地域から参加した人の意見を聞くようにすべき。
- ・行政への質問項目が多数あり(毎回感じられる)
- ・議会や議員に対し中傷的質問に片寄る傾向がある。
- ・特定の方(リピーター)が集まる傾向があり、いつも特論を述べる場となっている。一般市民の意見をもっと聞きたい。
- ・何時でも何処でも特定の人ばかりの発言になってしまう様なので、他の人が発言し易い雰囲気になれば良いと思う。
- ・多くの人に意見を聞くこと。
- ・参加者の発言時間が長くなりがち(特論を長々と述べる)なので、ある程度時間の制

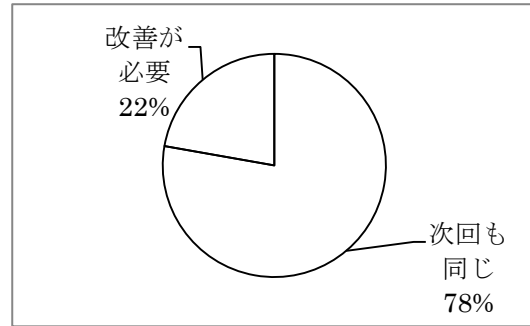
限を設けてもよいのではないか。

- ・質問者の意見発表となったので改善が必要。
- ・同じ人物が長い時間を専有するのは好ましくなかった。一人の発言時間を制限するべき。
- ・1人の者の質問、意見件数を制限する必要がある。
- ・当地域の人の優先発言時間を設定すべき。

4. 班編成について

「改善が必要」

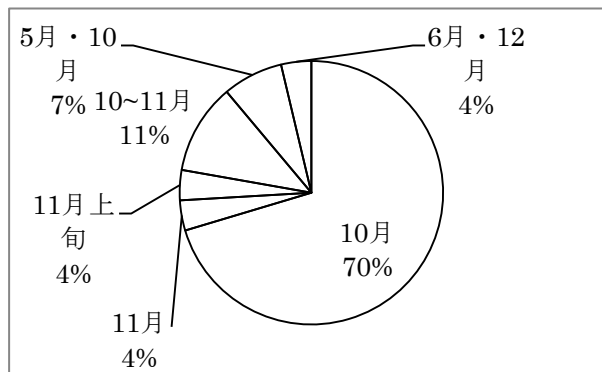
- ・もっとシャッフルして、人数も少なくても良いと思う。(4~5人/班が良い)
- ・同じ地域の議員でやったが、地元の問題等は意見としてなかったようなので地域をまとめなくてもいいのかなと思った。



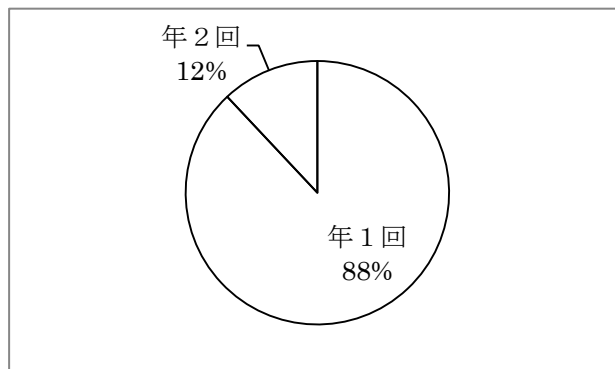
- ・地元議員中心の班編成以外の方法も検討する。
- ・次年度は議員の改選があるし、委員会も一新されるであろうから、新委員(議員)で良案を!!
- ・もっと少人数の編成でも良い。
- ・基本はガラガラポンと思うが良かったのでは。

5. 開催時期及び開催回数について

(1) 開催時期



(2) 開催回数



6.市民からの質疑回答について

「良好・満足」

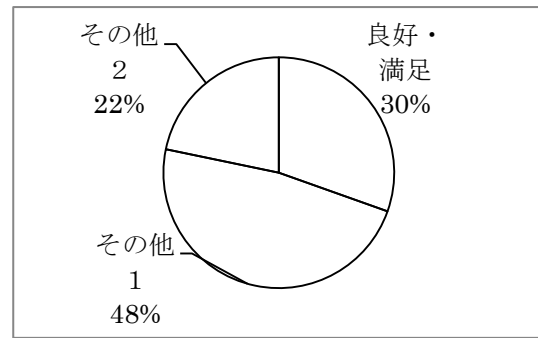
- ・良好（5人）
- ・ほぼ良かった。
- ・100%でないが、1回目、2回目と比較して向上が見受けられた。

「その他1」

- ・個人議員の意見が出ている又市民から聞きたいので対応を考えるべき。
- ・役割担当者どうしの事前打合わせを行ってほしい。
- ・関心ある市庁舎、メディカルセンターが多かったののでしっかりと私も勉強する必要性を感じました。
- ・執行部ではないので、報告資料の段階から議員サイドの報告とし、無理をしない質疑の回答をしたい。
- ・各地域の道路補修等の質問が多かった様感じた。後日本人に解答書を送付する事で良かったと思う。議員の個人的な回答はやめてもらいたい。
- ・議会は予算を持っていない。
- ・どうしても議員個人の考えが入ってしまう傾向にある。想定問答集を作っておいたらどうか。
- ・不勉強な回答もあった。残念。
- ・議会としての返答はむずかしいと思う。議員個人の意見を言えないのは市民側ものたりないと思われる。
- ・議員が行政ほど詳しい回答ができなくても当然である。概略の解答ですませ必要な場合には詳細は後日回答で良いのではないか。
- ・その場で、回答が出来ないものは後日調べて報告を、その為に住所名前を記載して頂いていると思います。
- ・司会者の割り振りにつけている流れがあると思う。

「その他2」

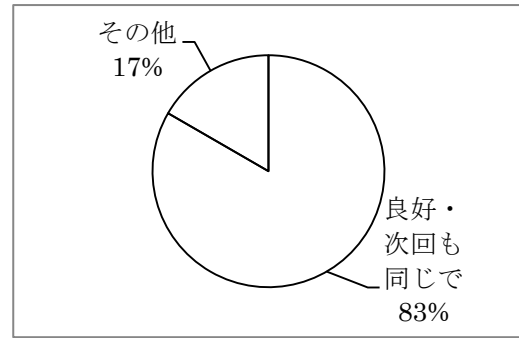
- ・議会で回答できる質問にしてほしい。
- ・特定の市民が各地域の会場にて自論を述べることは、何とか止めさせたい。事前に質疑を受付ることも考慮しては？
- ・毎年、特定の人が「自己満足」かの様な、長々、だらだらの質疑が出て会場の皆さんも不愉快になる。約2分程度の一問一答となる様、各班の司会担当議員の徹底を。
- ・市民の質問時間が長い傾向がある。報告に関する事項以外の質問もみられた。
- ・個人的意見を述べることを禁止することを、再確認する必要がある。
- ・市民からは率直な良い意見が多かったと思います。



7. 班の役割分担について

「良好等」

- ・良好（14人）
- ・班内で話し合っただけで決めた今回の方法で良い。
- ・班の編成人数でも違ってくるが、現状でいいと思う。
- ・それぞれが担っていたので良かったと思う。
- ・大平地域については、1人1役の分担制が図れ良かった。
- ・各班それぞれに工夫されていて良好であった。
- ・おおむね守られていたように思う。



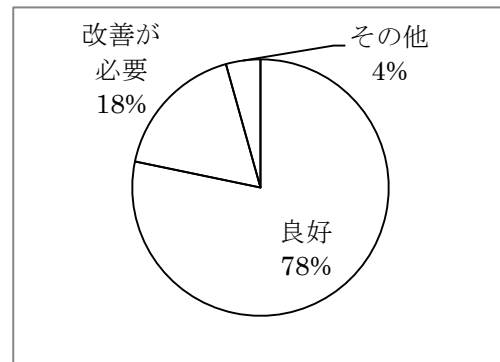
「その他」

- ・班長、司会は基本的、議会報告運営委員が担当し、地域選出議員は説明員となるべきと思う。
- ・各自の責任事項のみがあったのでは?班長のリーダーシップを求める。
- ・市民の質問時間が長い傾向がある。報告に関する事項以外の質問もみられた。

8. 会場の選定について

「良好等」

- ・良好（12人）
- ・公民館使用でいいと思う。
- ・各地域で順番で会場が設定されており良かったと思う。
- ・参加人数が少なく、一部で市民の方から指摘を受けたが、大平地域についてはベストであったと思う。
- ・不満はない。地域の方も慣れたのではないかな。
- ・現在の会場で良い。



「改善が必要」

- ・駐車場の心配のない会場にして頂きたい。
- ・参加が少ない所は考えるべき。
- ・地域自治区ごとに1カ所でもいいのではないかな。旧栃木市は3カ所、合併後の岩舟を入れれば全部で8カ所になる。
- ・多くの会場(狭いエリア)で開催しても参加者は限られている様なので、会場を絞り込み開催数も少なくした方が良く思う。

「その他」

- ・地元議員の意見を尊重していくのが良い。

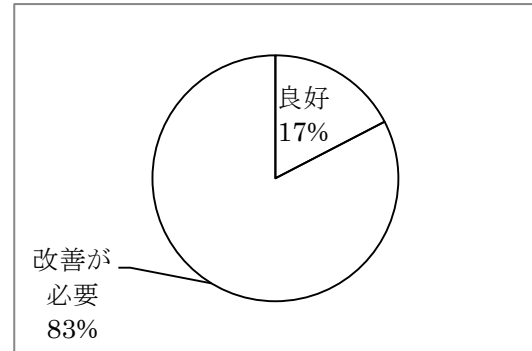
9.市民への周知方法について

「良好」

- ・良好(4人)

「改善が必要」

- ・直前の回覧が欲しかった
- ・参加人数が全体でも少なくなっていると思われる。参加者を動員で集めるべきものではないが、各議員も3～5人程度は集める努力はするべきと考える。
- ・全議員にチラシを出し市民に周知する。
- ・一工夫必要、都賀出席者が少なかった。
- ・新聞折り込みチラシを、開催時期に合わせて行うことができないか。後半の開催地区は市民が忘れてしまっている。
- ・会場によって多かった所、少なかった所ありましたが、議員の我々もアピールする必要があると思う。
- ・議員からの声かけをもっと行ってもよいかな?
- ・市民だよりに入れて配布する事も良いと思うが、しらなかったと言う市の声も聞えるので地域での回覧でのお知らせの方法も実施したらどうでしょうか!
- ・自治会長や地域協議会のメンバー等に案内状を送り、誘ってもらうようにしたらどうか。むしろ、一緒に報告会をやってもらう。
- ・工夫が必要と思われる。
- ・議員各位の個々人の後援会への周知も必要であると感じられた。
- ・全戸対象とするには各戸配布がベストだが効果は薄い。特に今回はチラシ配布が早すぎて殆ど忘れ去られているか、目にしていなかったようだ(藤岡地域に関して)。回覧方式も時期を失しなければ有効だと思う。
- ・予算的に現状で精一杯。地元議員に期待する。
- ・早めに、各地区、関連行政施設にも多くの報告会チラシを提示すべき(もっと拡大コピーすべき、見易く、解り易く)まだPR不足かも。
- ・参加者増員に向けて、自治会長等に協力を願う事も必要。
- ・広報紙の折込をしてほしい。
- ・ケーブルTVの協力を得ることは出来ないか。
- ・これは考えるべき、読んではいるがほとんどの人が忘れている。検討すべき。議員の声が必要。
- ・市政だより配付の時に自治会長に配付依頼をするのも一案ではないか。

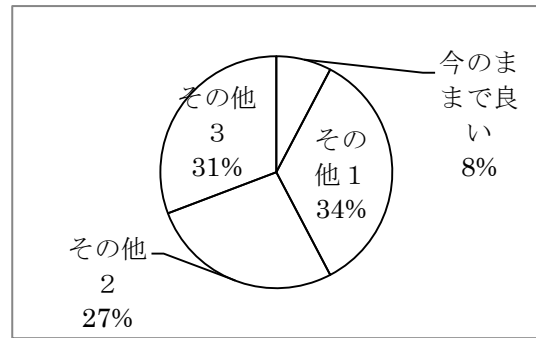


10.今後の報告会のあり方について

- ・今のままで良いと思う（2人）

「その他1」全体的改善等

- ・報告はスクリーンを使って(パワーポイントで)行うべきと考える。(写真や動画を多用すべきである。)
- ・今後、市庁舎も移転される事から、庁舎スペースを利用して開催検討してはどうか。(例、学生、主婦、個人経営者、高齢者層等)
- ・思いきって討論会形式を導入してはどうか?又は5名ずつのワーキンググループでのトーク方式等、市民に近い方法を考えても良いのでは?場所も議場を活用してはどうか。
- ・「いかに、市民の関心を得るか」をじっくり1年かけて、議員全員で塾議すべきである。開かれた議会→信頼される議会→は元より、「もっと魅力ある議会」を目指し、34名心を一つにして精進すべきである。
- ・司会の進行で、意義のある報告となるので進行役は長い質問は停止させて、簡単明瞭に質問をいただく様に導く。特に持論を述べる人は中止させる。又議員一人一人の意見を述べる事には反対する事。
- ・何らかの工夫が必要と思う。議員の意見が割れた議案等について、特に報告すべきと思う。
- ・どれだけ資料をわかりやすく作れるか。困難だが改善を続けていくべきである。
- ・現在年に1度なので、定例会の報告については、ある程度決まった型を作ると楽なように感じた。
- ・一部の人によって議会報告がちがった方向へ行きそうな場面が見られた。市民の発言時間(1人あたりの時間)を制限すべき。



「その他2」参加者を増やすための改善

- ・参加者を集める工夫が必要だ。(2人)
- ・参加者が多い所を同じ場所でも良いが、少ない所を考えて地域の議員に相談だ。
- ・現状で良いと思うが、出席者を増やす対策が必要。
- ・マンネリ火のせい参加者が少なくなっている。意見を言いたい人だけの報告会にならない工夫が必要と思われる。
- ・もっとたくさんの市民(業種)の方々の参加を集い、更に充実した報告会としたい。
- ・報告内容、報告形式は今回は良かったと思うのでいかに一般市民に来場してもらえるかを十分検討すべきと思う。
- ・夜間参加できない高齢者のため、規模は小さくても各地域での昼間の開催を望む。

「その他3」意見等

- ・1日2会場開催でもいいのではないかと。
- ・年に1回10月にやることは望ましいと思います。他の自治体での報告会もみてみたい。参加者は意識の高い方で議会にも興味のある方がきているから、こちらの対応も考えて望む必要があると思いました。
- ・議員個人の考えは差し控えるよう、昨年、厳しく申し渡されたので、今年はかなり萎縮してしまった。自分の報告内容を自分なりに改良し、納得して報告したが、「個人の考え方が・・・」と断った上で個人の意見を述べる報告会の方が議員の個性が輝き、血の通った報告になると思う。
- ・市民への身近な議会、開かれた議会を目指し、今後も開催していく必要があり、市民の皆様も徐々に議会報告会が浸透してきている様に感じている。あくまでも市民へ、議会への報告を正確に伝える事が我々議員も頑張っている姿を示す事が出来る機会であると思う。
- ・一個人の意見多し、報告会中止。
- ・担当議員の方々のご苦勞は解りますが、全ての議員が同じ回数の報告会に出席するようにして欲しいと思います。検討してください。
- ・議会報告運営委員会に一任します。
- ・報告会の回数が多すぎると思います。よって回数の検討をし、会場の選定をして頂きたい。又、一部分の市民の為に報告会をしている訳ではないので、改革をしていかなければ当番地域の市民の参加が望めないと思います。

11.その他お気づきの点がありましたらご記入願います。

「今後の報告会のあり方及び課題・改善等」

- ・全体で議論すべき。
- ・資料作り本当におつかれ様でした。読んでいて私自信が勉強になりました。市民の方との意見交換をもつと建設的なものにならないものかと感じました。
- ・市民は、議会と執行部とを混同しているように思われる。まず二元代表制での議会の役割、権能や権限を十分に理解してもらえるように、丁寧に説明すべき。
- ・今回、日中の開催を1カ所だけ行って見たが、参加者が見込めなかった。アンケート等を精査し、今後の検討課題にしたい。
- ・個人名を出しての批判等があったので、そうした時の整理をどうするのか、今後の課題としたい。
- ・報告運営委員会委員は一回(一年)毎に交代した方が良い。各委員の負担が多過ぎる。(事務局はそれ以上に大変と思うが。)
- ・報告会の時間が不足気味、開始午後6時～9時の3Hはどうでしょうか?
- ・議員個人の意見もきけるようにした方が良い。前半の説明部分で市民の方に質問用紙に質問を書いてもらっても良いのでは、基本的用語は正確に言う必要がある。

- ・今後各地区で開催する場所を大きくまとめ、女性団体連協議会や自治会連合会、地域協議会と連携して開催も検討されたい。
- ・議会報告以外の質疑には徹底的に市民に対して止められるべき、特に個人議員の質疑について。
- ・傍聴される方が固定化しつつあり、今後回を重ねても一部の影響力が大きい方、声の大きい方だけの意見交換会になってしまう事が懸念される。他の多くの市民の声が聞く事が出来る環境作りが、今後の課題とを感じる。
- ・一人の方が何カ所かの報告会に出席し、同じ発言をくり返している。
- ・開催地域参加者優先で質問を受けるようにすべき。
- ・毎回同じでは市民の興味は引けない。市役所内にいつでも議員と意見交換できるブースを設置し、交替で対応できる様なシステムを作っていけたらと思う。
- ・報告会への参加者が全体的に少ないように見えます。出席者の増加策を考えたい。それには議会、議員が魅力的でなければならない。更に加えて、出席への何か特典を与えたい。例えば、市の資料のプレゼント or 私立美術館への招待状のプレゼント等。

「感想等」

- ・報告会を実施する事で、自分自身の勉強にもなる。今後も継続して実施すべきだと思う。
- ・議員 OB 質問多すぎる。
- ・あまり良くない。
- ・連日連夜、議会事務局の皆様のご尽力に、ご苦勞に、心から感謝します。来年の議会報告会こそ、皆様のご苦勞に応えたい。
- ・班によって当日の運営の方法について、話し合いがなされていないようであった。一方で非常に連携のとれた班もあった。

政策提案に反映させるべき事項

***** 行政への提案 *****

- ・学童保育の促進について
- ・とちぎメディカルセンター仮称第一病院への産婦人科の設置について
- ・教育環境の整備について
- ・岩舟町との合併に伴う消防業務について
- ・保育所の統廃合問題について
- ・補助金申請に係る記載の簡略化について
- ・ふれあいバス運行に係る執行部との意見調整について

***** 議会への提案 *****

- ・議会報告会への参加者増の工夫について
- ・都市計画税について議会としても研究をすべき

今後の議会報告会のあり方について

【委員からの主な意見】

- 特定の市民が長く意見を述べているので、司会者がきちんと整理するべきである。
- 班編成については、4、5人でも可能ではないか。
- 各種団体（女性団体、農業団体等）との意見交換を実施してよいのではないか。
- テーマや意見交換をする相手を1つに絞って意見交換を実施してもよいのではないか。
- 女性の参加者が少なかったので、来ていただく工夫が必要である。
- 報告会、意見交換会、公聴会等、開催の形態をそれぞれ分けて実施するのも今後検討してみてもどうか。
- 公聴会を開催するのであれば明確なルールづくりが必要である。
- 議員個人の意見を発言できるような報告会の工夫も必要である。
- 不確定な情報を議員が発言するのは好ましくない。報告会の運営に係るルールを明確にし個人の意見はなるべく控えるべきである。